

氏名	横山純子
授与した学位	博士
専攻分野の名称	医学
学位授与番号	博乙第3741号
学位授与の日付	平成14年6月30日
学位授与の要件	博士の学位論文提出者 (学位規則第4条第2項該当)
学位論文題目	肝細胞癌症例および非担癌肝硬変症例にみられる血漿リン脂質多価不飽和脂肪酸組成の異常と臨床の意義
論文審査委員	教授 小出典男 教授 竹居孝二 教授 保田立二

学位論文内容の要旨

肝細胞癌 (HCC) 症例と、非担癌肝硬変 (LC) 症例の血漿リン脂質脂肪酸組成の分析を行い、肝臓癌発生における多価不飽和脂肪酸の意義を検討した。アラキドン酸とリノール酸のモル比 (AA/LA) は、血漿ホスファチジルイノシトールにおいて、HCC 例、LC 例ともに対照例に比べ各々有意の低値であり、血漿ホスファチジルエタノールアミンでは、HCC 例のみが対照例に比べ有意の低値であった。このことより、アラキドン酸からエイコサノイド産生亢進や血漿におけるアラキドン酸の酸化亢進の影響が示唆された。また、AA/LA は血清アルブミン値、コリンエステラーゼ活性と相関が認められた。肝臓におけるリノール酸からアラキドン酸への合成障害も影響していることが考えられた。

血漿リゾホスファチジルコリン (LysoPC) 濃度は、HCC 例、LC 例ともに健常対照例に比し、有意の低値を示した。また、LysoPC の分子種ではアラキドン酸-LysoPC が、HCC 例で LC 例に比し有意の高値を示し、また対照例と比べても有意の高値であり、血漿アラキドン酸-LysoPC は、HCC 症例での病態生理学上重要な役割を担っていると考えられた。

論文審査結果の要旨

本研究は肝細胞癌症例と非担癌肝硬変症例にみられる血漿リン脂質多価不飽和脂肪酸組成の異常とその臨床的意義について研究したものであるが、従来ほとんど行われていなかった肝細胞癌症例における血漿リン脂質多価不飽和脂肪酸組成について重要な知見を得たものとして価値ある業績であると認める。

よって、本研究者は博士 (医学) の学位を得る資格があると認める。